

## 第8回

# 中国百科検定 問題 特級（歴史）

第1問 かつて古代中国文明とは（ ）文明と同義に理解されてきたが、中国考古学の目覚ましい発展により、いまや東南部や西南部、北方など多元的に文明の起源はとらえられている。（ ）に入れるべき用語は何か。

第2問 青銅製の独特な縦目仮面（右の写真参照）などの遺物で知られる有名な三星堆遺跡は、何省にあるか。



第3問 血縁に基づいた氏族集団がいくつか集まり、初期農耕社会の集落が生まれた。殷代の社会における主要な集落単位を何と言うか。

第4問 西周期、周王は主に血縁関係にある諸侯を各地に遣わし、代々その地を領有させ

た。このような分権的な地方支配政策を何と言うか。

第5問 戦国時代の諸侯はそれぞれ王と称し、富国強兵に努めたので、周王朝は有名無実になった。戦国初期に勢力を最も伸ばしたのはどの国か。

第6問 戦国の七雄の中から現れ、他の諸国をつぎつぎに滅ぼし、全国を統一した人物は誰か。

第7問 漢（前漢）では呉楚七国の乱の鎮圧以後、中央集権制が強化され、耕地の開墾や治水・灌漑の整備も進む一方、西域にも領土を広げた。前漢の最盛期はどの皇帝の時か。

第8問 新が滅亡すると、その後の動乱のなかで漢の一族の劉秀が漢を再興した。彼は都を洛陽に移し内政重視の方針をとったが、即位して何帝と呼ばれたか。

第9問 張角が開いたとされる後漢末の新宗教集団は、困窮した農民を集めて武装化し、大規模な農民反乱を起こした。この宗教結社は何と呼ばれるか。

第10問 「倭」と中国で表記されていた日本は、稲作の普及とともに小国家が成立し、やがて邪馬台国を中心に連合がすすんだ。邪馬台国やその女王卑弥呼について記述している中国の歴史書は何か。

第11問 帝位をめぐる王族の内紛と匈奴の侵入により晋（西晋）が滅亡すると、その一族が江南に逃れて晋を再興した（東晋）。即位したその人物は誰か。

第12問 隋の第二代皇帝煬帝は、文帝の時代に始まった大運河の工事を完成させたが、三度にわたる朝鮮への遠征に失敗した。この時進攻を受けた朝鮮の国は何か。

第13問 唐から五代にかけて、辺境防備のためにおかれた軍団の司令官は軍事指揮権だけでなく行政権も持つようになり、強力な存在となった。その指揮官を何と言うか。

第14問 隋唐時代に北方で覇権をもったトルコ（チュルク）系遊牧民は、遊牧民としてはじめて文字をつくり漢字文化に対抗しようとした。その遊牧民族は何か。

第15問 後周の武将であった趙匡胤が皇帝となり建国されたのが、宋（北宋）である。都となったのは大運河の要地であったが、それはどこか。

第16問 契丹（遼）は燕雲十六州を獲得して以後、遊牧民と農耕民に対し二元支配を行った。遊牧民には部族制を用いたが、農耕民統治に利用した制度は何か。

第17問 宋では、農業や商工業の繁栄によって国家財政が充実していたが、防衛費や官僚組織のための経費がしだいに財政を圧迫した。王安石を宰相に起用し、財政再建と農民・

中小商工業者を保護する改革を実施した皇帝は誰か。

第 18 問 淮河を国境として南宋と金は 100 年以上並立した。この間おおむね平和が続き、経済や文化が発達したが、その後南宋は別の国の軍によって滅ぼされた。南宋を滅ぼした国（王朝）は何か。

第 19 問 明代に官学とされ、官僚を選抜する科挙でその内容などが出題された学問は、江戸時代の日本にも影響を与えた。それは何か。

第 20 問 明代にキリスト教布教のために中国に来航し、世界地図『坤輿万国全図』を作成して世界の地理・地誌を地球球体説とともに伝えたイエズス会の宣教師は誰か。

第 21 問 明代初期に「健訟」対策のために民事的な紛争の処理を政府から任された者は、村落内の人望のある人であったが、何と呼ばれているか。

第 22 問 鄭和の南海遠征は、中国と沿岸諸国との交流の道を広げ、華僑の東南アジア進出のきっかけともなった。鄭和を南海諸国に派遣した皇帝は誰か。

第 23 問 科挙試験のための学問となって形式化した官学を批判して、「知行合一」の必要性を説いた明代の儒学者は誰か。

第 24 問 女真の統合に成功したヌルハチ（清の太祖）は、1616 年、後金を建国した。彼が作った軍事・行政組織は何か。

第 25 問 伝統中国社会の家族での財産相続の仕方は、伝統日本社会と異なっている。中国の財産相続はどのようなものであったか。

第 26 問 林則徐が密貿易品のアヘンを没収・廃棄すると、イギリスは自由貿易を名目に武力に訴え戦争が始まった。アヘン戦争の結果、開港された中国の対外貿易港を 1 つあげよ。

第 27 問 太平天国は「滅満興漢」を掲げて清朝打倒をめざし、1853 年に南京を攻略、ここを首都として天京と名づけた。太平天国は土地均分の方針を示したが、それは何という制度か。

第 28 問 太平天国の乱を鎮圧したのは、清朝の正規軍ではなく、地方の武装部隊や官人官僚が組織した軍隊であった。李鴻章が設立した軍隊の名称は何か。

第 29 問 辛亥革命後の 1912 年 1 月、南京で共和制の中華民国の成立が宣言された。その際、臨時大総統に就任した革命派の指導者は誰か。

第 30 問 中国共産党は来年で創立百年を迎えるが、その創立は第一次世界大戦後の世界の動向と関連していた。党創立に強い影響を与えた共産主義者の国際的な組織は何か。

第 31 問 1926 年、蔣介石ひきいる北伐軍（国民革命軍）が、中国統一をめざして進軍を始めたのはどの都市からか。

第 32 問 満州事変から日本の本格的な中国侵略は始まっていたが、それは部分的戦争でもあった。では、日中全面戦争のきっかけとなった 1937 年 7 月の事件は何か。

第 33 問 中国国民党の蔣介石は、第 2 次世界大戦後中国共産党との内戦に敗れ、1949 年台湾に逃れた。1927 年に蔣介石と結婚し、台湾へも共に移ったのは誰か。

第 34 問 朝鮮戦争は国連軍の出兵、中国志願軍の参戦で国際紛争化した。1953 年ようやく休戦協定が調印されたが、参戦を支持するために全国で展開された運動は何と呼ばれていたか。



第 35 問 1959 年夏、廬山会議で大躍進政策の問題点が指摘されると、毛沢東は発言した人物を激しく攻撃するようになった。この時、毛沢東に批判された人物は誰か。

第 36 問 「プロレタリア文化大革命」の直接の口火を切ったのは、ある文化批判であったが、それは毛沢東と文革派による「実権派」への反撃の開始であった。その批判とは何か。

第 37 問 文化大革命推進派は、紅衛兵を動員して「資本主義の道を歩む実権派（走資派）」を攻撃、追放した。中国のフルシチョフと呼ばれて失脚したのは誰か。

第 38 問 文革末期の 1975 年、全人代で周恩来首相は 4 つの近代化を打ちだしたが、それは農業・工業・国防とあと 1 つは何か。

第 39 問 日中関係の基本原則を条約の形で確定した 1978 年 8 月に調印された条約の名称

は何か。

第 40 問 1989 年の第 2 次天安門事件で、運動に参加している学生に宥和的すぎるとみなされ職を解任された総書記は誰か。